

研究課題名	胃癌外科治療における予後因子および合併症予測因子についての後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	当院で胃癌の手術を受けられた方を対象に、術後合併症および生存転機に関わる因子を解析します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2028年3月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2003年1月~2022年12月までに大阪市立大学(現:大阪公立大学)医学部附属病院にて胃癌に対して手術を受けられた方。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：以下の項目です。</p> <p>① 患者基本情報：年齢、性別、BMI、PS、ASA、併存疾患、既往歴、喫煙・飲酒歴、体重減少、呼吸機能、筋肉量、栄養指標、術前治療</p> <p>② 腫瘍基本情報：局在、肉眼型、大きさ、病期診断</p> <p>③ 血液検査結果：血液像、生化学検査、凝固系、腫瘍マーカー</p> <p>④ 手術所見：術式、手術時間、出血量、輸血有無</p> <p>⑤ 病理所見：組織型、壁深達度、リンパ節転移、脈管侵襲、IM、多発癌、癌遺残度</p> <p>⑥ 術後所見：術後合併症、在院日数、術後補助化学療法</p> <p>⑦ 転帰：再発有無、再発部位、再発年月日、生死、死因、最終生存確認日</p>
試料・情報を利用す る者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器外科のみで行います。
試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
本研究の 利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学</p> <p>(担当者氏名) 三木 友一朗</p> <p>電話番号：06-6645-3835</p> <p>メールアドレス：y_miki@omu.ac.jp</p>